

俺たちに明日は無い

※警告！この先はマスター以外には読んではいけません！

●シナリオの開始

このシナリオはTL1末期～TL2初期を舞台としています。
PCたちはフリーの傭兵ですが、仲間の歌姫（シュピルドーゼ出身者。いない場合は、単に評議会側所属とする）を通じて、シュピルドーゼ北部にある地方都市、シュタインブルグの領主からじきじきに依頼を受けることになります。

●鉱山都市シュタインブルグ

シュタインブルグは人口2000人程度の小規模な城塞都市です。街の南側には城壁の一部をかすめるように川（囃き川）が流れており、堀であるとともに水上交通路としても利用されています。
この街は、地方貴族シュタインブルグ伯の館もあるため、小さいながらもさまざまな設備が整っており、治安も悪くありません。また、街の近隣には直轄の鉱山も点在しており、普段からにぎわっています。
しばらく前までは、この都市の周辺にも蟲が出没していました。しかし、奏甲部隊の活躍によって大半は駆逐され、現在は安全な状態が続いています。

#1-1 発端：アイドル英雄と山賊英雄

事件の発端はパーティがこの都市にやって来る1週間ほど前にさかのぼります。
この都市の領主、シュタインブルグ伯爵（もちろん女性です）は元の世界でアイドルだったという3人の英雄たちをたいそう気に入り、彼らに強力な奏甲と優秀な配下を与えて精鋭部隊へと鍛え上げました。彼ら自身もその期待に答え、先の蟲掃討作戦では大きな戦果を挙げています。
しかし、そんな順風満帆だった彼らの活躍に、突如暗雲が立ち込めます。それは、最近この町の近くに流れてきた山賊英雄たちによる襲撃でした。
小規模な蟲の部隊を討伐し、意気揚々とシュタインブルグに帰還しようとしていたアイドル英雄たちを、山賊たちの奏甲が取り囲んだのです。
蟲との戦いをゲーム感覚でこなしてきた彼らですが、人間を相手に殺しあうというリアルな感覚には耐え切れず、逃走しようとしたところを捕らえられ、奏甲を奪われてしまいました。幸い、彼ら自身は傷つけられることはありませんでしたが、それ以来、自信を喪失して領主の館で腐るだけの日々を過ごしています。

#1-2 領主からの依頼

お気に入りの英雄を打ち負かされ、その威信も傷つけられたシュタインブルグ伯爵は、コネを利用して口の堅そうな傭兵部隊を招聘しました。（大々的に討伐隊を組めば、英雄たちの失態が周囲の貴族たちにばれてしまうからです）その中の一組がプレイヤーたちの傭兵団でした。
シュタインブルグ伯爵は、PCたちに山賊団の討伐、および奏甲の奪還を依頼してきます。

「そなたらは実力、人柄共に信頼にたる者たちだと聞いておる。報酬については望まふとまでは行かぬが、そなたらが納得するに十分なものを支払おう。わらわと家臣たちの無念、晴らしてはくれまいか」

依頼を受けた場合、シュタインブルグ伯爵は報酬として200万Gを約束してくれます。もしプレイヤーがこの報酬に満足していないようであれば、加えて今回の奏甲運営費用も伯爵持ち、ということにして

も良いでしょう。

依頼を断ろうとした場合、伯爵は評議会やシュピルドーゼの実力者に掛け合っ、PCたちが今後、これらの依頼先から仕事を請けられないようにすると脅してきます。

なお、依頼を受ける受けないに関わらず、PCは今回の依頼内容についての「反応チェック」を行ってください。

<シュタインブルグ伯爵>

今年で30歳になるブロンドのせくしーお姐さん。シュタインブルグを支配する地方領主です。
赤銅の姫や評議会とのコネクションが強く、最新鋭機種を手に入れることができます。
元々は生真面目な性格でしたが、アイドル英雄たちにお熱になってからは、周囲があきれる馬鹿領主になってしまいました。

#1-3 アイドル英雄たち

依頼を受けると、プレイヤーたちは事件の当事者である英雄、ショーゴ、アキト、テツヤを紹介されます。彼らは元々日本でアイドル歌手として売り出し中だった3人組なので、日本出身のPCであれば彼らを知っているかもしれません。
彼らはPCを見ると、テレビでは見せたこともない、馬鹿にした表情を浮かべます。

「なんだ、傭兵だと聞いてたからどんなすごい奴らかと思ってたけど、これじゃアテになりそうに無いな」

PCが怒るようであれば、彼らはさらに嘲笑を重ねます。（自分たちの無力感を、他人に当り散らすことで発散しているのです）
ここで冷静に対処するのであれば、彼らはつまらなそうにしながらも、自分たちを襲った山賊たちがどんな装備をしていたかを教えてくれます。しかし、彼らの挑発に乗ってしまうと、「（PCの格の違いを見せつけるために）もし7日以内に依頼を片付けられなかったら、報酬を半分彼らに渡す」という約束をさせられます。（ここで「相性チェック」を行ってください）

<アイドル英雄たち>

現世ではアイドルグループとして活躍していた英雄たちです。アイドルらしく？横柄な態度が目立ちますが決して悪人というわけではありません。

<山賊団の情報>

アイドル英雄達を襲撃した山賊団は、カスタムされたプルプァ・ケーファの一団であったということがわかります。細かい戦力構成まではわかりませんが、飛行タイプのもや、火器を使う機体がいたとアイドル英雄達は教えてくれます。

#1-4 シュタインブルグでの行動

シュタインブルグの街では、情報収集や必要な装備の購入などの行動を行うことができます。もし、プレイヤーがまごつくようであれば、次のような情報収集方法があるということをそれとなく指示してあげて下さい。

聞きこみ調査

(1) 工房で話を聞く：

シュタインブルグの奏甲修理を手がけている工房です。話を聞くと、